金づち（江戸小咄から）

旦　おおい、定。定吉。定吉はいませんか。
あのねぇ、ここの廊下に釘が出ていますよ。着物でも引っ掛けて、かぎざきにでもすると、えらい損をするだろう？あの、お隣りへ行って、金づちを借りて来なさい。

定　へーい、いってきました。

旦　金づちはかりてきましたか。」

定　そのう、貸さないんです。

旦　どうして。

定　お隣りへまいりますと、鉄の釘打つのか、竹の釘打つのかってぇ聞きますから、鉄の釘を打ちますってぇと、鉄と鉄とかぶつかると、金づちが減るから、もったいなくて、貸せないっていうんです。

旦　なんてぇけちな事を言うんだ、釘一本打ったからって、金づちがどれくらい減るんだよ、しみったれだな。じゃしょうがない、うちのを出して使え。